

# ぐるっと縦走矢倉岳から明星ヶ岳③金時山

日時：2021年12月18日（土） 天候：晴 歩数：1万3000歩 距離：7km

集合：箱根登山鉄道箱根湯本駅改札 8時50分

コース：箱根湯本駅バス停（時之栖御殿場高原ビール行き9時発乗車）→乙女峠バス停（標高800m）→  
登山口→乙女峠（標高1005m）→長尾山（標高1144m）→金時山<sup>山</sup>（標高1212m）→  
矢倉沢峠→金時登山口<sup>山</sup>（標高670m）→仙石バス停（バス）→箱根湯本駅

参加者：A班 市村（L） 勅使河原 小田 澤 風間 5人  
B班 河野（SL） 山田（SL） 平石 奈良 清水 三田 6人

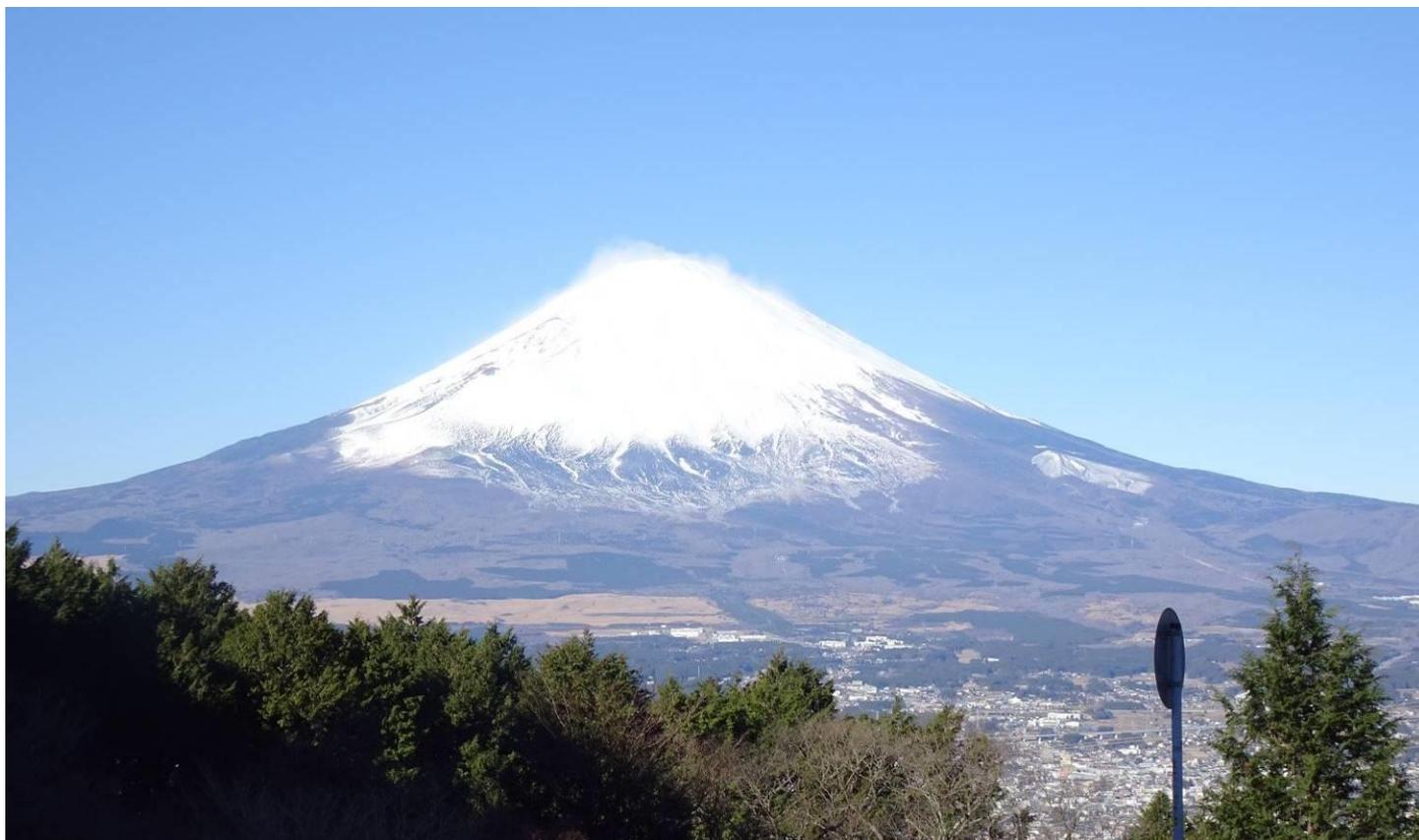
「ぐるっと縦走矢倉岳から明星ヶ岳」3回目は、箱根ハイキングでは人気ナンバーワンの金時山です。山名は10世紀後半、源頼光の四天王の一人であった坂田金時（金太郎）にちなみます。当初計画では足柄峠から猪鼻岩経由で山頂をめざす予定でしたが、山頂直下が一昨年（2019年）の台風19号の影響で通行止めのため、乙女峠から長尾山経由にコース変更をして計画しました。

気象条件は、前日の17日午後は北海道では雪が降り、日本海側では雨が降りました。18日にかけて日本上空には寒気が流入し強い冬の気圧配置の影響で日本海側では大雪予報でした。箱根町の予報気温は10時で6.1℃、12時で7.6℃、歩行中山頂までは1～2℃ぐらいか。「山道が凍結しているようならば引き返します」と周知してスタート。晴れて気温が低い分、空気が澄んでいて、乙女峠バス停、乙女峠、金時山山頂から富士山絶景を3度楽しめました。写真は昼食後、登山愛好家グループが2017年に建てた箱根町側山頂のマサカリ標柱を挟んで1枚。昼食をとった少しの間に富士山には雲がかかってしまいました。



## 箱根湯本駅 9時00分～9時39分 乙女峠バス停 冠雪富士の絶景

箱根湯本駅を時之栖御殿場高原ビール行き9時丁度発に乗車、ほぼ全員が座れるぐらいの乗車率、若者グループが目立ちます。バスは、1号線～138号線をどんどんと高度を上げて行き、金時登山口バス停、金時神社入口バス停、乙女口バス停で登山客を降ろしていき9時39分、乙女峠バス停到着。ほとんどの乗客が降りました。バス停からは、すそ野まで広がる冠雪富士の絶景が飛び込んできました。みなさん写真撮りまくり、「この景色だけで大満足」の声に「幸先良し」の感触。河野さんのリードで入念ストレッチ、市村リーダーがコース説明、「山道が凍結しているようならば引き返します」と周知して9時55分、スタート。



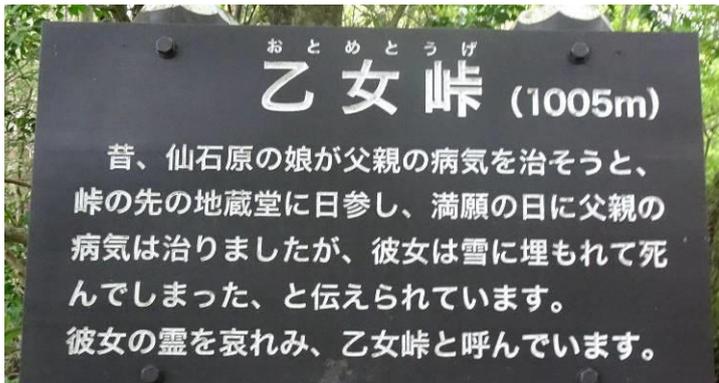
## バス停（標高 800m） 9 時 55 分～10 時 35 分乙女峠（標高 1005m）

道路が急カーブしていて下から車が迫ってきます。注意して横断し山道に入ります。5分ほど進むと金時登山口と分岐の標識（いずれもこの2枚は下見の9月撮影）が出てきました。ここから乙女峠まで標高差200mの上りです。今回の班分けはA班、B班の2班体制、乙女峠まではA班B班合同。高度を上げて乙女峠までの中間点を過ぎて小休憩、山肌に霜柱が見えましたが足元は凍っていません。10時35分、標高1005mの乙女峠に着きました。この日2度目の富士山絶景です。富士山を背景にした撮影ポイントが設置されており、2班に分かれて集合写真を撮りました。



## 乙女峠 10時43分～11時06分長尾山（標高1144m）

乙女峠の説明板に「昔、仙石原の娘が父親の病気を治そうと峠の先の地藏堂に日参し、満願の日に父親の病気は治りましたが彼女は雪に埋もれて死んでしまったと伝えられています。彼女の霊を哀れみ乙女峠と呼んでいます」と名前の由来が書かれていました。道標の御殿場方面乙女峠バス停から上って来ました。真っすぐ下れば仙石原方面乙女口バス停、左に上れば金時山、右に上れば箱根外輪山縦走コースの丸岳方面です。金時山をめざします。ここからは下山者が多くなるのでA班（市村L先頭、澤、風間、小田、勅使河原）先行、B班（河野SL先頭、平石、奈良、清水、三田、山田SL最後尾）が少し間を空けて、10時43分に上りはじめました。若者や家族連れが続々と下りてきます、中には小学2年と3年の男の子がいました。11時06分に標高1144mの長尾山山頂に到着。勅使河原さん、澤さん、風間さんが立っている足元は雪が残っています。小田さん、清水さん、河野さんが談笑している陽の当たるところは、土が見えています。



## 長尾山～左手に富士山 右前方に金時山を見てアップダウンの繰り返し

何回も金時山に登っている人も、このコースで登るのは初めてという人が多いようです。長尾山から金時山の標高差はたったの68m、ところがアップダウンの繰り返しで少し手強いです。左手に富士山を見て、少し尾根道が続きましたがまもなく急峻な下り、「下りるのもったいな～い」の声が聞こえてきました。気持ちわかります。平坦な尾根道にでも今度は上り、右前方には金時山山頂が見えるのですが、まだまだ遠いです。尾根道に出て一息、右手に箱根外輪山、芦ノ湖、台ヶ岳の麓には仙石原の景色が広がっていました。



## 山頂からの声が大きくなり 12時07分 金時山山頂（標高1212m）

神山の手前に、大涌谷の火山性ガスの白煙と大涌谷ロープウェイ駅が見えました。少し尾根道が続きました。下り、後ろから若者グループが迫ってくるので道を空けて待機。最後の上り、山頂からからの人の声が次第に大きくなり12時07分、風間さんが金時山山頂一番乗り。感想文で「登ったり下ったりしながら頂上に到着した時は、感動した！気持ち良かった！寒かった！着いて良かった！」と述べています。2回（湘南平ハイキング、一夜城下見ハイキング）の「試験」を経ての参加で山頂踏破しました。山頂は昼時とあって大混雑。登り口に小山町の金時山山頂標識があるため、後続の写真撮影はままなりませんでした。



## 金時山山頂から3度目の絶景富士山 金太郎茶屋のなめこ汁で昼食

金時山山頂から3度目の富士山絶景を楽しむことができました。富士山は自宅からも見えますが、山を登ってきての富士山はまた格別の感動があります。「寒さ対策をして昼食を」と周知。山頂には2軒の茶屋があり、9人が「金太郎茶屋」に入り昼食、なめこ汁（400円）を注文して温まりました。山頂には有料トイレあり、足柄方面の下りは「通行止め」と注意書きが張り出されていました。大山はくっきりと見えました。富士山は集合写真を撮るときには雲がかかってしまいました。



## 金時山 12時50分~13時17分分岐~13時39分

12時50分、下山開始。A班先行、後ろ3人はB班の三田さん、奈良さん、最後尾の山田さん。山頂直下は急峻な岩場、慎重に下ります。下山は南斜面で日当たり良、岩場を過ぎると低層の木立の中を土の感触を感じながら下ります。13時17分、公時神社分岐。道標の金時山山頂までの所要時間は20分と表記されています、このタイムは健脚タイム。詳細地図社では上り30分、下り20分。27分かけて下りてきました。ここからは竹藪に囲まれた比較的緩やかな下り、足取り軽く13時39分に矢倉沢峠まで下山。この間、詳細地図社25分のところを22分で下山。うぐいす茶屋跡の前で、お菓子の差し入れを頂き小休憩。



## 矢倉沢峠 14時15分～14時30分仙石バス停～15時13分湯本駅

登ってきた金時山を眺めながら、満足感いっぱいの休憩をして13時45分に下り始めました。茶屋跡横を上って行けば明神ヶ岳コースです。緩やかな山道から一般道へ出て、別荘と思われる住宅街を下りていきます。明るい日射しを受けながらみなさん和やかな表情です。14時15分に金時山登山口へおりました。河野さんのリードでクールダウン。少し歩いて14時30分、仙石バス停に到着。想定コースタイムの早い設定タイム丁度で着きました。バスは、土曜日とあって湯本駅に近づくに連れて渋滞、15時13分に湯本駅に到着。駅前商店街も少し観光客が増えてきたようです、お土産に「元祖箱根温泉まんじゅう」を購入。1万3000歩、7kmの金時山山行、冬ならではの絶景冠雪富士を3度楽しみました。



(いちむら記)